

病害虫発生予察注意報（第2号）

令和4年8月8日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）

作物名：ナシ、カキ、カンキツ等

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 発生時期：8月～10月

4 注意報発令の根拠

- 予察灯によるチャバネアオカメムシの成虫誘殺数は7月3半旬以降、伊勢原市三ノ宮（図1）、小田原市根府川（図2）、平塚市上吉沢、山北町川西で平年よりも多く推移しており、増加傾向にある。
- フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数は、南足柄市怒田、小田原市根府川で7月4半旬以降急増しており（図3、4）、平塚市上吉沢で平年よりも多く推移している（図5）。
- 向こう1か月の平均気温は高いと予報されており、果樹カメムシ類の活動に好適な条件が続くと予想される。
- 以上より、今後、チャバネアオカメムシ成虫の多くが果樹園に飛来すると考えられるため、ナシ、カキ、カンキツ等で注意が必要である。

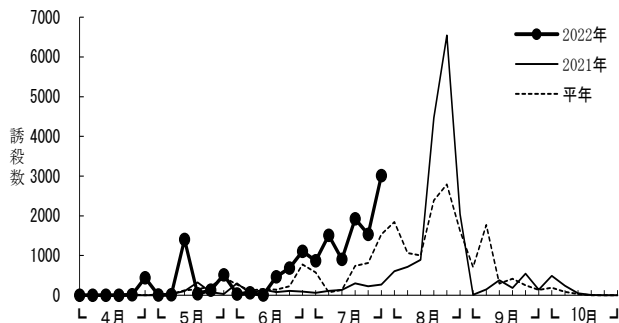


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（伊勢原市三ノ宮）

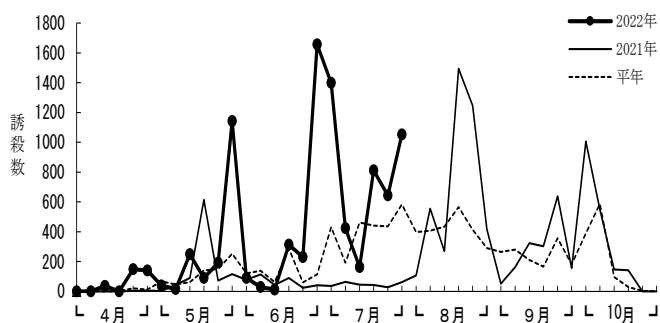


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（小田原市根府川）

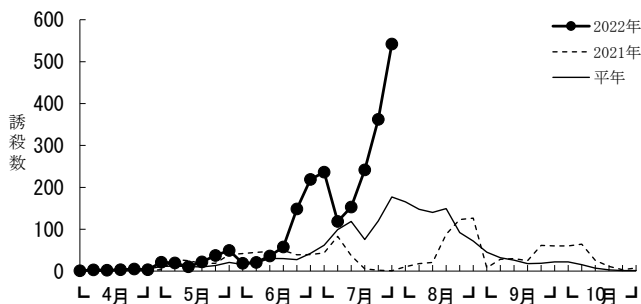


図3 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（南足柄市怒田）

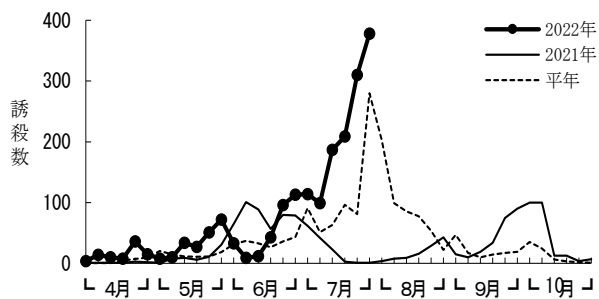


図4 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（小田原市根府川）

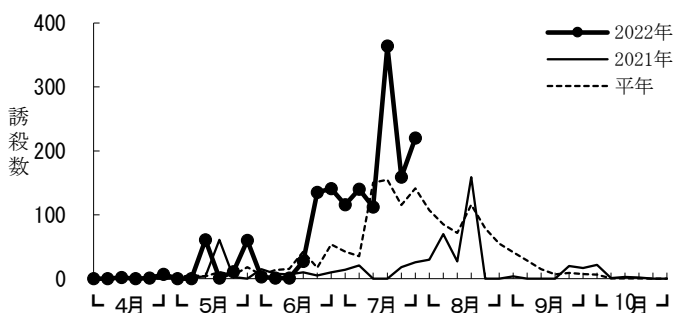


図5 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（平塚市上吉沢）

5 防除対策

- (1) ほ場内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) カメムシ類に適用のある防除薬剤例を下表（令和4年度県病虫害雑草防除指導指針等掲載農薬）に示した。

なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（○は適用有り、農薬登録情報 2022年8月1日現在）

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無		
		ナシ	カキ	カンキツ
キラップフロアブル	2B		○	
アディオオン乳剤	3A	○	○	○
アグロスリン水和剤	3A	○	○	○
アーデントフロアブル	3A	○	○	
テルスター水和剤	3A	○	○	○
テルスターフロアブル	3A	○	○	○
ロディー水和剤	3A	○	○	
アクタラ顆粒水溶剤	4A	○	○	○
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	4A	○	○	○
ダントツ水溶剤	4A	○	○	○
モスピラン顆粒水溶剤	4A	○	○	○
バリアード顆粒水和剤	4A	○		

神奈川県農業技術センター
 病虫害防除部
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333
 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>